

JAいずみの
地域営農ビジョン

「農業と地域の共生」

～「農」のある暮らしと、豊かな「食」の提供～



目次

地域営農ビジョンの改定の趣旨 . . . P 3

I. J Aいずみの管内の概況 . . . P 4

1. 農家戸数
2. 農業産出額

II. 農産物生産出荷組織等の状況と推移 . . . P 5

1. 農産物生産出荷組織の状況
2. 農産物直売所(愛彩ランド)の状況
3. エーコープ(J A全農ららぽーと和泉店)の状況

III. つな活アンケート結果 . . . P 7

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. つな活アンケート回答率 | 6. 農業技術継承 |
| 2. 担い手の状況 | 7. 農業経営承継 |
| 3. 農地の状況 | 8. 農地活用の見通し |
| 4. 作付状況の割合 | 9. 農業経営の改善に必要と感ずること |
| 5. 後継者指名 | 10. 将来、農業を続ける事が難しい理由 |

IV. 地域農業戦略 . . . P 9

1. 地域農業振興策
2. 担い手類型と生産者層イメージ
3. 生産者層に対する3つの戦略
4. 新たな担い手の確保

V. 地域農業戦略の基本方針 . . . P 11

1. 基本方針
2. 農業者層ごとの基本方針

VI. 具体的な取り組み . . . P 12

1. 地域農業振興策
2. 農業振興地域対策
3. 農業振興地域外対策
4. 新たな担い手確保対策
5. 地域住民に向けて(コミュニティ戦略)
6. 地域農業をリードする農業者
7. 地域農業を支える中核的農業者
8. 多様な担い手
9. 地域農業を支える担い手

さいごに . . . P 15

地域営農ビジョン改定の趣旨

ＪＡいずみのは、2016（平成28）年6月に地域農業の振興方策の羅針盤として、『ＪＡいずみの地域営農ビジョン「農業で生涯現役！！」～「いきがい、楽しみ」の発見と農業所得の安定的向上を目指して～』を策定し、中長期的農業戦略として具体的な取り組みを実践してまいりました。

主な実践状況

1. 生産戦略の取り組み

- ・ 出向く体制による営農指導活動
- ・ 実践的な農業技術講習会の実施
- ・ 生産資材費低減への取り組み
- ・ 農業労働力の確保（無料職業紹介所の展開）
- ・ 農業機械レンタル事業の実施
- ・ ＬＩＮＥを活用した営農情報の発信



専門職職員による農業者訪問

2. 販売戦略の取り組み

- ・ 学校給食への農産物提供
- ・ 近畿圏内のＡコープ店への農産物提供

3. 担い手戦略の取り組み

- ・ 就農相談窓口の設置
- ・ 就農希望者の研修受入（受入農家での研修）
- ・ 若手農業者組織「青壮年会」の発足と活動の展開

4. コミュニティ戦略の取り組み

- ・ 食農教育の積極的な実施
- ・ 農業体験学習による農業・農産物への理解促進
- ・ 生産者と消費者の交流イベントの開催



青壮年会によるマルシェ出店

しかしながら農業を取り巻く環境は厳しさを増し、高齢化等による担い手の減少により、これまで以上に積極的な取り組みが必要なことから、今般、中長期的農業戦略を改定し、年次ごとに具体的な取り組みを実施いたします。

組合員の方々におかれましても、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」や「都市農業と地域社会との共生」の実現のため、ＪＡいずみのの取り組みに対しまして、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

I JAいずみの管内の概況

1. 農家戸数

(単位：戸)

	岸和田市	泉大津市	和泉市	高石市	忠岡町	計
総農家数	1,094	125	1,006	104	58	2,387
自給的農家数	693	106	713	86	44	1,642
販売農家数	401	19	293	18	14	745

※資料元：2020年農林業センサスデータ

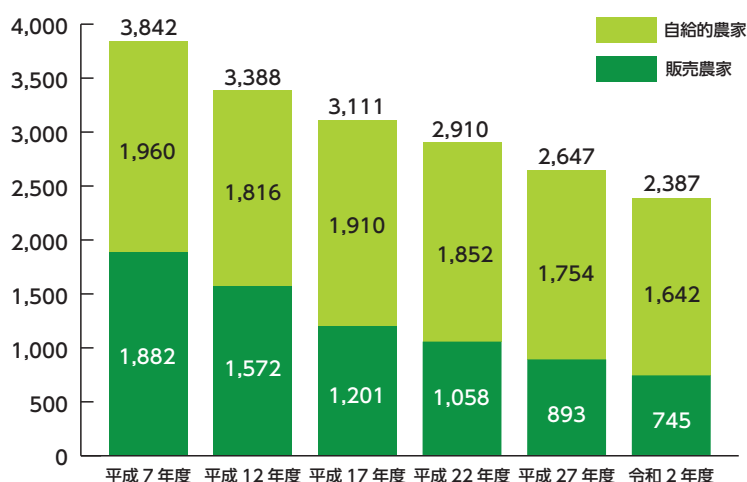
2. 農業産出額

(単位：千万円)

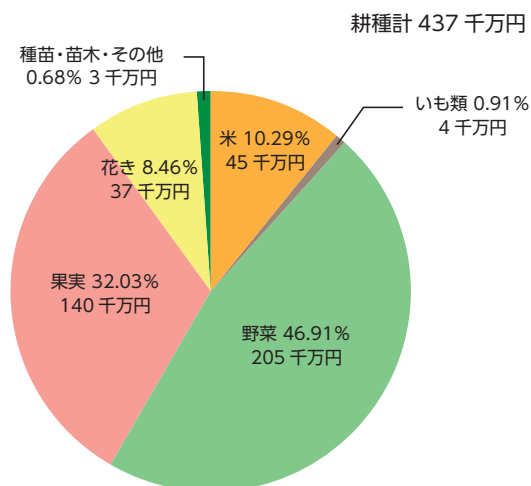
	岸和田市	泉大津市	和泉市	高石市	忠岡町	計
耕種計	224	8	199	3	3	437
米	16	2	25	1	1	45
いも類	2	—	2	—	—	4
野菜	114	2	86	1	2	205
果実	83	1	56	—	—	140
花き	8	—	29	—	—	37
種苗・苗木類・その他	2	—	1	—	—	3

※資料元：2020年農林業センサスデータ

農家戸数の推移 (単位：戸数)



農業産出額



Ⅱ 農産物生産出荷組織等の状況と推移

1. 農産物生産出荷組織の状況

(1) 出荷組織別構成人数の推移

(単位：人)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
柑橘 ^{かんきつ} 生産出荷組合	124	125	124	126	126
みかん出荷部会	59	65	65	67	65
いちじく生産出荷組合	17	16	16	14	13
水茄子 ^{なす} 生産出荷組合	48	47	49	49	47
軟弱 ^{なや} 蔬菜生産出荷組合	127	106	103	102	104
種 ^{くさ} 先生産出荷組合	37	37	37	37	37
紅ズイキ生産出荷組合	2	2	2	2	2
筍 ^{たけのこ} 生産出荷組合	49	49	49	48	50
花卉 ^{かき} 生産出荷組合	23	22	19	17	16
玉葱 ^{たまねぎ} 生産出荷組合	58	59	59	55	52
冬瓜 ^{とうもろこし} 生産出荷組合	24	25	24	21	19
包近桃 ^{かねちか} 出荷組合	22	19	19	18	19

(2) 出荷組織別年間売上金額の推移

(単位：百万円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
柑橘 ^{かんきつ} 生産出荷組合	31	38	22	27	19
みかん出荷部会	6	5	4	4	3
いちじく生産出荷組合	23	19	22	20	19
水茄子 ^{なす} 生産出荷組合	322	281	237	264	269
軟弱 ^{なや} 蔬菜生産出荷組合	245	277	258	249	242
種 ^{くさ} 先生産出荷組合	3	2	2	3	2
紅ズイキ生産出荷組合	5	5	4	3	4
筍 ^{たけのこ} 生産出荷組合	7	6	9	8	9
花卉 ^{かき} 生産出荷組合	21	17	16	19	15
玉葱 ^{たまねぎ} 生産出荷組合	3	5	5	9	4
冬瓜 ^{とうもろこし} 生産出荷組合	2	2	2	2	1
包近桃 ^{かねちか} 出荷組合	26	18	19	21	18

2. 農産物直売所（愛彩ランド）の状況

出荷者および売上金額の推移

（単位：人/百万円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出荷者数	1,172	1,178	1,198	1,116	1,123
売上金額（委託品）	1,084	1,105	1,091	1,096	1,083

3. エーコープ（JA全農ららぽーと和泉店）の状況

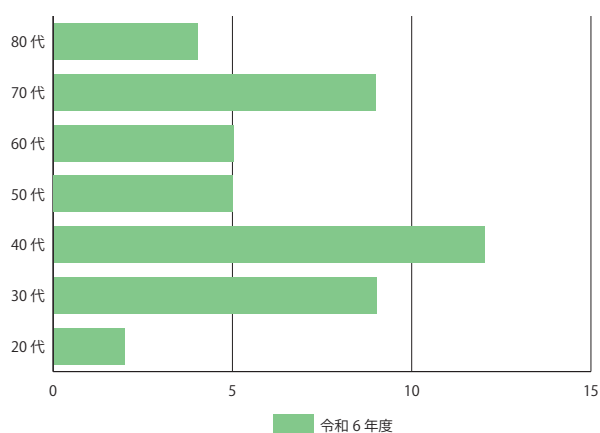
出荷者および売上金額の推移

（単位：人/百万円）

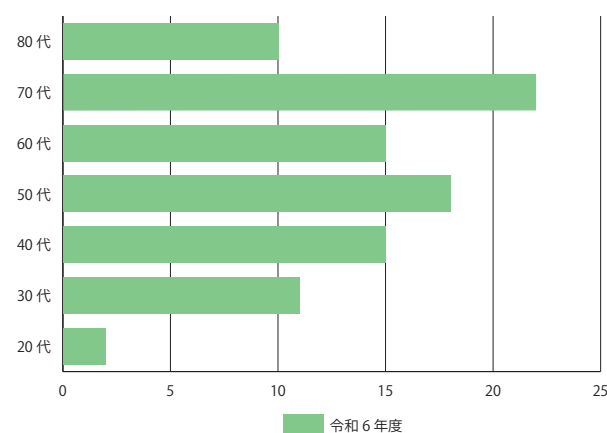
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出荷者数	468	476	496	510	463
売上金額	265	248	239	243	234

《参考》主な組織等の年齢層（令和6年4月時点）（単位：人）

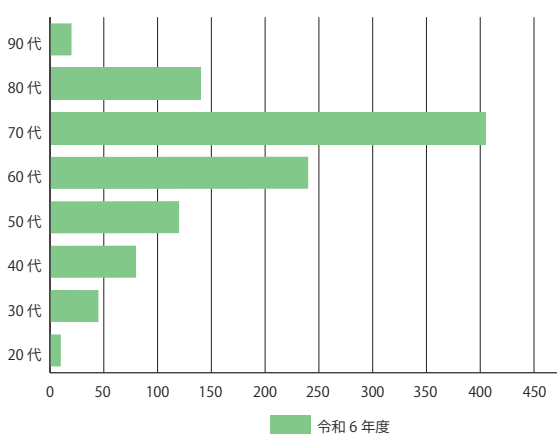
水茄子生産出荷組合



軟弱蔬菜生産出荷組合



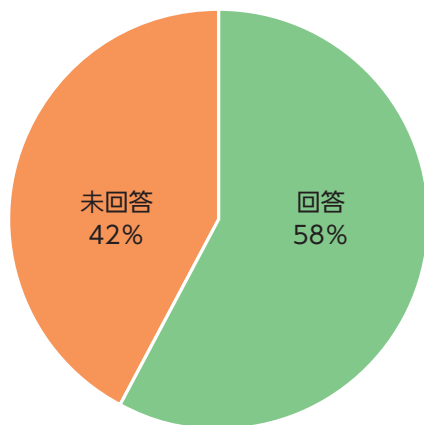
愛彩ランド出荷協力会



Ⅲ つな活アンケート結果

令和5年度に「大阪農業を次代へつなごう活動（つな活）」として、正組合員への訪問活動を実施。農業の「現状」と「10年後の農業経営」についてアンケートを行いました。

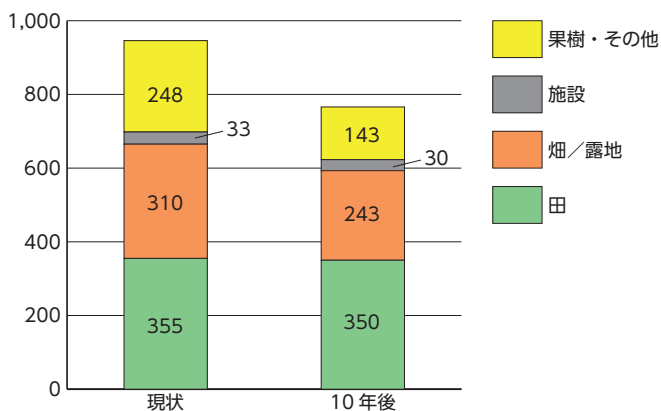
1. つな活アンケート回答率 (単位：%)



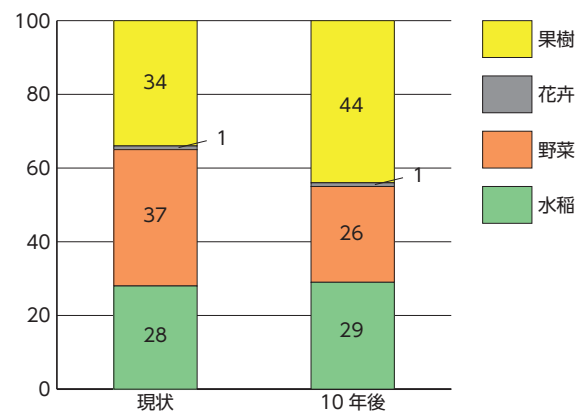
2. 担い手の状況 (単位：人)



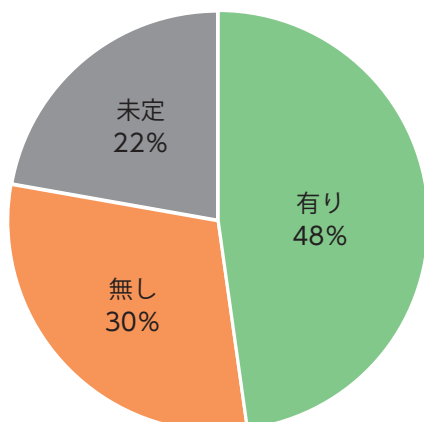
3. 農地の状況 (単位：ha)



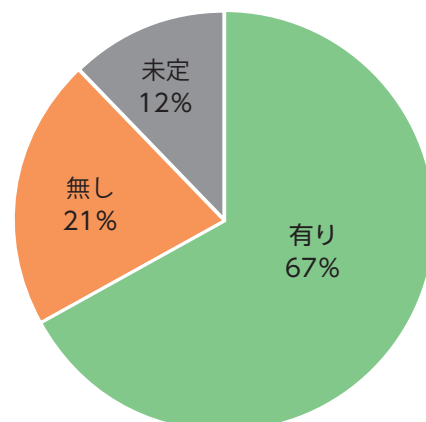
4. 作付状況の割合 (単位：%)



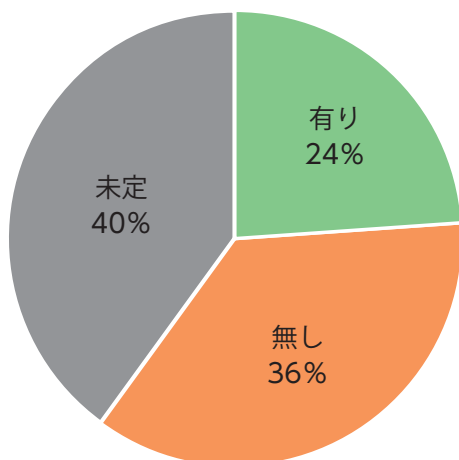
5. 後継者指名 (単位：%)



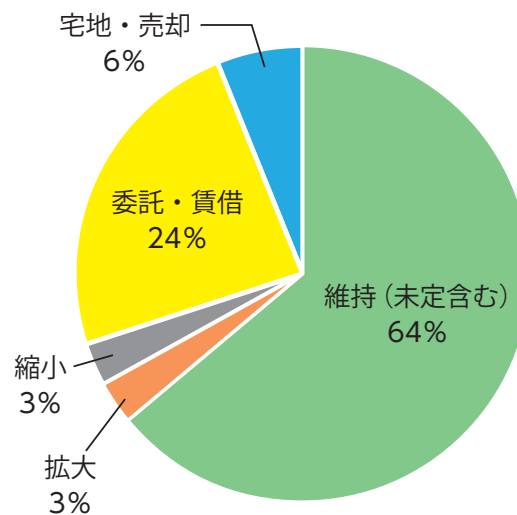
6. 農業技術継承 (単位：%)



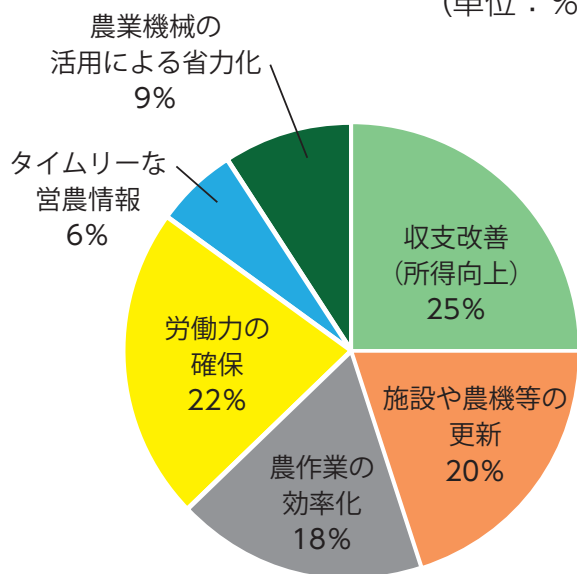
7. 農業経営承継 (単位：%)



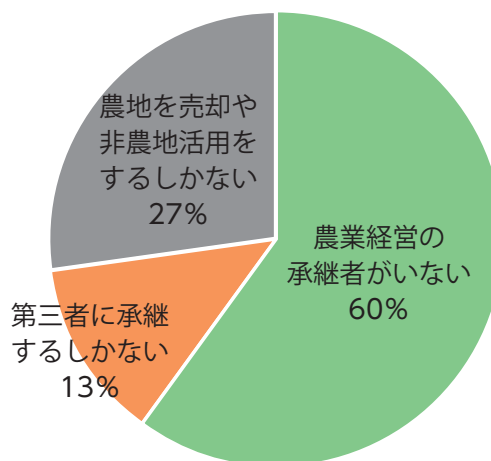
8. 農地活用の見通し (単位：%)



9. 農業経営の改善に必要と感ずること (単位：%)



10. 将来、農業を続けることが難しい理由 (単位：%)



Ⅳ 地域農業戦略

1. 地域農業振興策

地域農業の永続のために、
地域住民との相互理解を！

地域住民に向けた
コミュニティ戦略

食と農のPR

みどりの食料
システム戦略

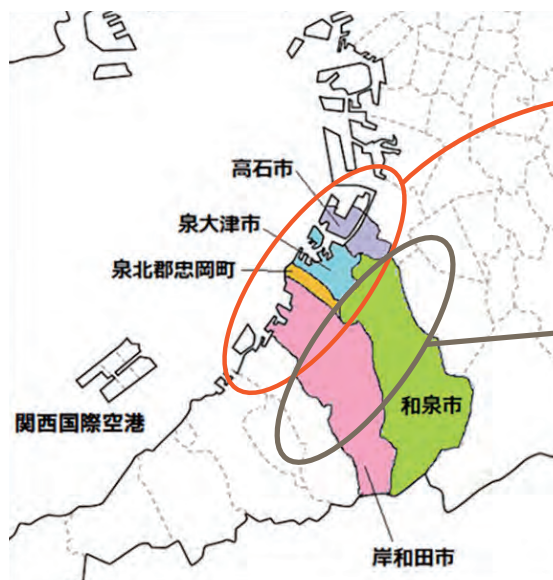
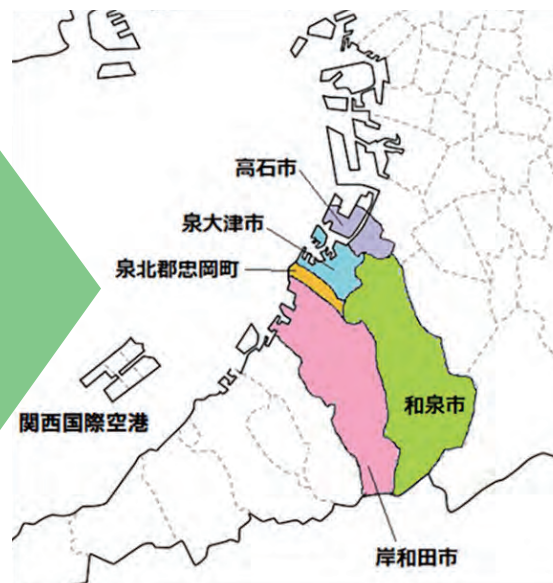
地域農業振興のために

みどりの食料
システム戦略

農政活動

農地保全

職員育成



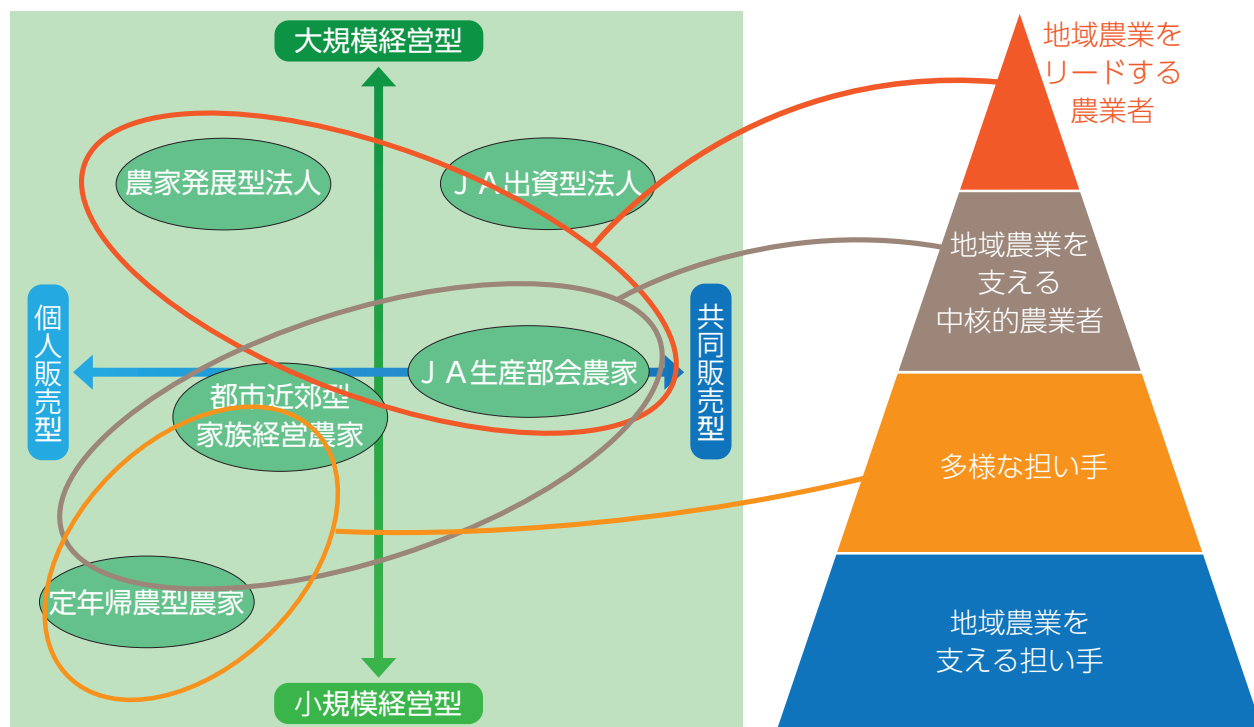
農業振興地域外

- ・都市農地の貸借
- ・市民農園の運用

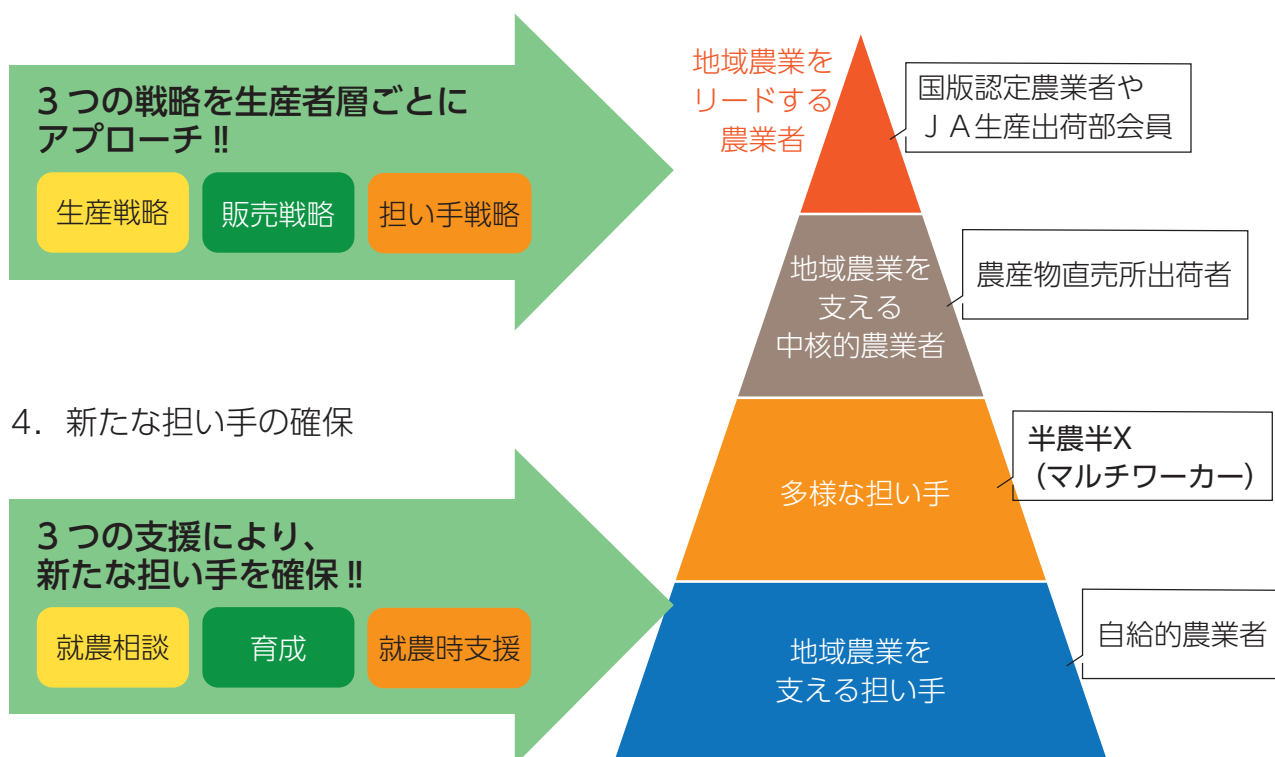
農業振興地域

- ・圃場整備の推進
- ・利用権の設定
- ・産地化の推進

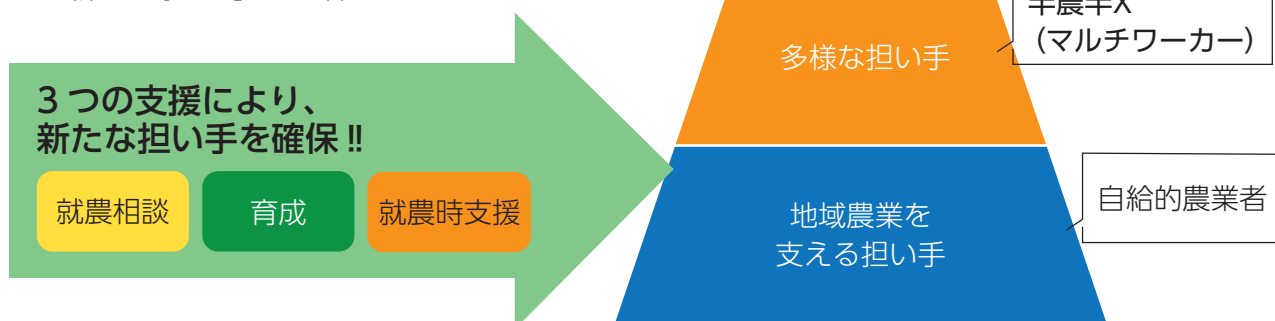
2. 担い手類型と生産者層イメージ



3. 生産者層に対する3つの戦略



4. 新たな担い手の確保



V 地域農業戦略の基本方針

1. 基本方針

○ 地域農業振興策

地球温暖化を少しでも改善する目標 (SDGs) を背景に、国が推進するみどりの食料システム戦略を推し進め、管内農業生産における「環境調和型農業の実現」に寄与するとともに、地域農業の持続的な発展や農業所得の向上に資するための農政活動や営農指導員の育成を図る

○ 農業振興地域対策

地域の話し合いに基づき、将来に残すべき農地や農産物について、圃場整備等の推進や産地化・ブランド化の推進を図る

○ 農業振興地域外対策

農業者の営農活動を支援 (農作業受託)、また、多様な担い手を中心に、都市農地の貸借の円滑化に関する法律 (都市農地貸借法) の推進により「都市にあるべき農地」として保全を図る

○ 新たな担い手確保対策

定年帰農や新規参入などを募集し、新たな担い手として育成する取り組みを実践、新たな仲間づくりを図る

○ 地域住民に向けて

「食」や「農」の大切さや、「旬」を知る機会を提供し、身近に「農のある景観」への理解や共生の推進を図る

2. 農業者層ごとの基本方針

○ 地域農業をリードする農業者

求める姿	基本方針
農業経営 (所得) が安定しており、子弟などの次世代に、安心して農業経営を勧めることができる姿	地域農業の産地化やブランド化を推し進め、スマート農業の導入をするなど、ビジネスモデルの確立に関する取り組みに対し支援を図る

○ 地域農業を支える中核的農業者

求める姿	基本方針
定年後のセカンドライフとして、農業を経営し農産物直売所に出荷しながら「いきがい」や「楽しみ」を体現し、充実した生活をおくる姿	「GAP (生産工程管理手法) の考え方の普及」に基づく「安全・安心な農産物生産」を推し進め、消費者に求められる農産物の生産に関する取り組みに対し支援を図る

○ 多様な担い手

求める姿	基本方針
会社員などをしながら環境にやさしい農業を 実践し、副次的販売として農産物直売所に出 荷する姿	「環境負荷低減型農業の普及」を推し進め、地 域や農業と共生する農業に関する取り組みに 対し支援を図る

○ 地域農業を支える担い手

求める姿	基本方針
祖先から受け継いだ農地や農空間を地域の農 業者と守り、次世代につないでいく姿	地域農業や農地を守り、次世代に「農」をつ なげる取り組みに対し支援を図る

Ⅵ 具体的な取り組み

1. 地域農業振興策

- ① みどりの食料システム戦略への取り組み
 - ・カーボンニュートラル（移動の脱炭素化）の推進
 - ・みどりの食料システム戦略（環境負荷低減）の推進
- ② 営農相談機能強化策
 - ・農業経営改善コンサルチームの創設
 - ・地域農業の課題解決に貢献する職員（営農指導員）の育成

2. 農業振興地域対策

- ① 農地保全への取り組み
 - ・農地中間管理事業の推進に関する法律の普及・活用

3. 農業振興地域外対策

- ① 農地保全への取り組み
 - ・都市農地の貸借の円滑化に関する法律の普及・活用
 - ・特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律の活用
 - ・農地保全機械作業の受託により農地の遊休化未然防止

4. 新たな担い手確保対策

- ① 就農相談窓口を常設（法人化相談対応を含む）し、
ホームページでPR
- ② 就農相談会の開催
- ③ 大阪府の「農業大学校」「短期プロ農家養成研修」
を斡旋



大阪市内で開いた新規就農説明会

- ④ 就農準備研修先支援事業の活用により就農希望者を育成
- ⑤ 就農計画書(事業計画・収支計画)の作成支援
- ⑥ 就農に必要な「農地」「施設」「農機」等を斡旋
- ⑦ 連合会と連携した農業資金融資相談を実施

5. 地域住民に向けて(コミュニティ戦略)

- ① Instagram等を活用した農業者や農産物等の情報発信
- ② 食農教育(農業体験)の実施
- ③ 購買Life店舗における農業体験等の実施やInstagram等を活用したイベント情報の発信を検討



イモ掘り体験

6. 地域農業をリードする農業者

- ① 生産戦略
 - ・新品目、新品種の導入や促成栽培、抑制栽培の導入
 - ・高品質化、高付加価値化に向けた栽培技術指針などの策定(例えば、温州みかんの「マルチ」「ドリップ(点滴)」方式の普及)
 - ・スマート農業の普及による生産規模拡大
 - ・無料職業紹介所の運営
 - ・LINEによる営農情報の運用
 - ・生産コストの引き下げ(予約購買等の見直しを検討)
- ② 販売戦略
 - ・需給に応じた新市場の開拓
 - ・実需者に選ばれる品質の持続的向上
- ③ 担い手戦略
 - ・出向く営農指導活動の実施
 - ・連合会と連携した農業経営コンサルティングの実施



ドローンを使ったスマート農業の講習会

7. 地域農業を支える中核的農業者

- ① 生産戦略
 - ・農業用機械レンタル事業の運用
 - ・GAPの考え方の普及(実践的農業講習会の実施)
 - ・環境調和型農業の実現(大阪エコ農産物認証制度の活用)
 - ・消費者が求める商品(品質、荷姿、量目)の導入
 - ・LINEによる営農情報の運用
 - ・生産コストの引き下げ(予約購買等見直しの検討)
- ② 販売戦略
 - ・農産物直売所の品位(ブランド力)向上(品質検査の実施)



レンタル需要が高いラジコン草刈り機

- ・農薬使用履歴記帳の徹底と残留農薬検査の実施
- ・農薬使用履歴記帳の公開
- ③ 担い手戦略
 - ・出向く営農指導活動の実施
 - ・連合会と連携した農業経営コンサルティングの実施

8. 多様な担い手

- ① 生産戦略
 - ・農業基礎講習会の運用
 - ・子会社等と連携した農業基礎技術講習会の検討
 - ・農業土木作業受託の検討
 - ・LINEによる営農情報の運用
- ② 販売戦略
 - ・農産物直売所の品位（ブランド力）向上（品質検査の実施）
 - ・農薬使用履歴記帳の徹底と残留農薬検査の実施
 - ・農薬使用履歴記帳の公開
- ③ 担い手戦略
 - ・出向く営農指導活動の実施



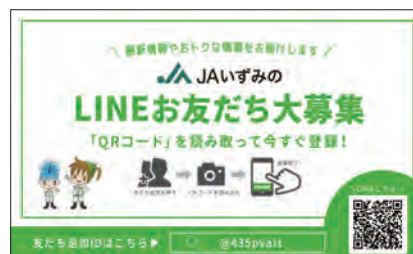
連合会と連携した農業経営コンサルティング



抜き打ちで行う愛彩ランドの検品

9. 地域農業を支える担い手

- ① 生産戦略
 - ・水稻機械作業受託の運用
 - ・LINEによる営農情報の運用
- ② 販売戦略
 - ・販売農家へランクアップ
 - ・魅力ある農産物直売所の運営を図る
 - ・農業、農産物、農産物直売所出荷者の魅力を提供



QRコードでLINE友だち登録



LINEで発信している
営農情報の例

さいごに

本書（地域営農ビジョン）は、当ＪＡが「地域農業の持続的発展につなげ、農業者の所得向上」などにつなげる羅針盤として策定するものです。

この地域営農ビジョンに基づき、地域にあるべき都市農業の姿を目指す中長期計画として具体的な取り組みを実践してまいります。

また、「食」を起点に地域住民（消費者）とのつながりを強化し、地域農業との共生を図るとともに、地域になくてはならないＪＡとしての役割を発揮してまいります。

このことにより、ＪＡの組織の成長につなげ、さらなる農業振興策の策定と具体的な取り組みに結びつけるよう努めてまいります。



発行／いずみの農業協同組合

〒596-0045

大阪府岸和田市別所町3丁目13番20号

TEL. 072 (439) 2381 (代表)

ホームページ <https://www.ja-izumino.or.jp>

2025 (令和7) 年3月発行

